

# 自治会活動 参加しポート



No. 16

「地域アドバイザー派遣  
シンポジウム  
～人を紡ぐ・いのちを紡ぐ～」

奈良橋自治会

(平成28年9月11日実施)

東京都主催事業として、希望する自治会に対し、地域の課題解決に必要なさまざまな知識を持った専門家を「地域活動支援アドバイザー」として派遣し、自治会が抱える悩みや課題の解決に向けたアドバイスを行う事業に今回、奈良橋自治会が派遣対象自治会に選定されたとのご連絡を受け、その場に職員も参加させていただきました。

会場となる奈良橋公会堂に到着すると、自治会の方々が既に大勢集まっており、地域を良くするためにみんなで学ぼうという自治会員の皆さんの積極的な姿勢が伺えました。

今回のテーマが「高齢者の見守り活動に対する専門的な知識や効果的な取組」ということで、講師の方からは主に被災地での経験や人と人の交流、自治会の必要性についてお話していただきました。この会に参加して、今後の自治会運営等で個人的に大切だと感じたことについていくつか紹介していきたいと思います。

まず、震災等が起きたときに重要なことは『支援者間での情報共有』であり、今後自治会名簿の見直し等を行う際は、世帯主のみの記載しかない場合は世帯のすべての人の情報を載せるようにしていく方が良いとのこと。このことで情報の共有化が図られ、いのちを守ることに繋げることが出来ます。



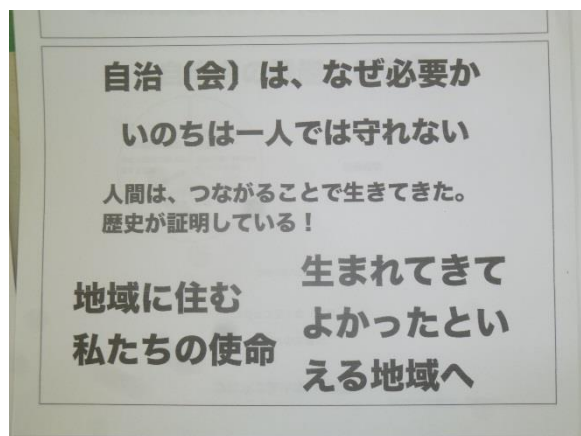
▲講師の福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 天野 和彦氏

次に、被災地福島で被災者の笑顔を引き出すことにつながった取組事例です。避難所に足湯とサロンを設置したことで、『人と人との交流』が生まれ、結果として多くの人の心を救えたため、講師の方が『人を救えるのは人だけ』と実感せざるを得なかったと話されていたことが大変心に残りました。被災者とボランティア、またサロンを進んで手伝おうとする人々の触れ合いによって、そこには『自治』も生まれ、人と人がつながる仕組みが出来上がっていました。過去に人が感じる寂しさによって救えなかった命も多かったことから、今後も【交流の場の提供と自治活動の促進】が最重要課題となっていきます。



▲自分たちの自治会の「良さ」について考えるワークショップでの様子

最後に、自治会がなぜ必要かについて、人は一人では生きていけないため、多くの



講師の方は話されていました。また、自分の住んでいる地域をより良いまちにしていこうという意味において大きなメリットがあることも忘れてはならないとのことでした。

今回シンポジウムに参加できたことで、多くの知恵を学べたとともに、見守りや人とのつながりの大切さについて改めて考えさせられる大変良い機会となりました。ありがとうございました。

自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所市民生活課市民協働係までお問合せください。

電話 042-563-2111

(内線1711)

ファックス 042-563-5931



▲奈良橋自治会 岸会長